

広報広聴常任委員会会議録

- 1 日 時 平成31年3月1日（金）
10時07分開会 11時49分閉会
- 2 会議場所 役場3階第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：佐藤幸一 副委員長：深沼達生
委 員：川上 均（遅刻 10:46～）、山下清美、中河つる子、中島里司
議 長：加来良明
- 4 事務局 事務局長：佐藤秀美、係長：宇都宮学、主任：鵜田瑞恵
- 5 説明員 なし
- 6 議 件
 - (1) 議会広報の編集と発行について
 - (2) 議会だより第157号の発行について
 - (3) その他
- 7 会議録 別紙のとおり

委員長（佐藤幸一）：広報広聴常任委員会を開催する。

（1）議会広報の編集と発行について

委員長：議会広報発行基本要綱、議会広報発行細則、先進地視察研修資料（栗山町・仁木町）、北海道町村議会議長会広報研修会資料を配付している。次号の議会だよりから全面的な見直しを行って議会広報の充実を図る予定であるが、これまでの広報広聴常任委員会における調査・検討の状況について、振り返りを行う。議会広報発行基本要綱、議会広報発行細則の改正内容について事務局より説明をお願いします。

鶴田主任：（議会広報発行基本要綱、議会広報発行細則の内容について説明）

委員長：質疑があれば受ける。

（なしの声あり）

委員長：次に進める。昨年7月に実施した、栗山町・仁木町の先進地視察研修の概要について事務局に説明をお願いします。

鶴田主任：（栗山町・仁木町における先進地視察研修の概要について説明）

委員長：何か質疑があれば受ける。

中河委員：この先進地視察の報告書をまとめた委員長は今回いないが、行った方がこの委員会にいれば、口頭で何か内容があれば話をしてほしい。

委員長：皆さん真面目に取り組んでいて、見習わないとならない点はたくさんあった。具体的には、子どもの写真が出ているが希望者が多いということが印象にある。各担当で真面目に取り組んでやっているという印象。私たちも初めてやるものだから、研修のときにはあれもこれもやらなければならなくて大変な作業だという思いもあったが、今事務局から説明を受けて、いろいろな分野に分かれてやることにもなりそうなので私たちもやっていけるという思いもある。研修の概要についてはこれでよいか。

（なしの声あり）

委員長：ないようなので、昨年8月に出席した北海道町村議会議長会広報研修会の概要について事務局より説明をいただく。

鶴田主任：（北海道町村議会議長会広報研修会の概要について説明）

委員長：今回の住民に読まれ伝わるという広報編集の基本については、広報広聴常任委員会で研修会に参加して勉強してきた。自分たちの思いは自分たちでつくろうということを会場でも言っていたので、今回はこれに沿ってやっていきたい。事務局からの説明について何か質疑があれば受ける。清水もわかりやすく住民に伝わる議会だよりを作っていこうと思っているので、これについては参考にするということでよいか。

（よいという声あり）

（2）議会だより第157号の発行について

委員長：議会だより第157号の発行について、議会広報発行スケジュール（案）、表紙のデザイン（案）、一般質問レイアウトデザイン資料、似顔絵資料、表紙の写真、・町民の声・一般質問答弁要約の担当について配付している。休憩する。

【休憩 11:04】

【再開 11:05】

委員長：再開する。議会広報発行スケジュール（案）について、事務局から説明をお願いします。

鶴田主任：議会広報発行スケジュール（案）ということで、5月15日発行の場合を例に書いてある。年4回発行するが、今回は5月発行の場合を掲載している。発行まで4回の委員会開催を考えている。

これは栗山町、仁木町の場合を参考にして4回必要ではないかと思い提案する。1回目の委員会は定例会会期中、今回の場合だと最終日3月19日の開催がいいのではないかと思う。この委員会では一般質問要約の当番委員を決定し、原稿用紙、答弁書を配付して一般質問の答弁の要約にとりかかるかどうか。一般質問の要約は、質問した議員が450字以内にまとめて会期中に提出するとなっている。ここで出されていない場合は質問議員に催促するか、質問された議員と通告書を見て打ち合わせするかというかたちになるかと思う。また、表紙の写真内容と当番委員の決定、町民登場企画（取材）の当番委員を決定するというので、この2つについてはシリーズ化するかどうかというところも議論しなければならない。表紙の写真については、前広報広聴常任委員会では子どもがいいのではないかという意見があったので参考にお伝えする。議会付議事件等の取捨選択についても、この委員会で全体を通してメイン記事や写真、イラストを協議してはいいのではないか。2回目の委員会は、定例会の閉会日から2週間後ぐらいがいいかと思い、4月2日頃としている。2回目の委員会では、頁構成、写真の配置、見出し、レイアウトなどを協議する。3回目の委員会は、閉会日の約1か月後、4月23日頃としている。ここで校正作業ということで、事務局としては8割方ここでできている予定でいる。5月15日までの間に臨時会が入ると臨時会の記事も載せることになっているので、頭に入れておいていただきたい。4回目の委員会は、発行日の約1週間前、5月7日頃としている。ここでは最終構成を行う。発行スケジュールについてはこのような案を提案する。

委員長：これについて意見はあるか。第1回目の委員会は3月19日頃でよいか。

（よいという声あり）

委員長：一般質問要約の当番委員を決定したい。

鴫田主任：当番委員は案では3月19日頃に決定となっているが、既に一般質問の通告が出ているので今日の最後のほうで決めることができたかと思っている。

佐藤局長：今までは一つの部を発行するに際して2回の委員会しか開いていなかった。これからはより議員が関わって発行していくということで、今回は5月15日発行の場合で日程を入れているが、今後4回のスケジュールを組んで発行していきたいというのが事務局の考え。日にちだけではなくて、4回のスケジュールでいいのかということも確認してほしい。

委員長：第1回は3月19日頃、2回目は4月2日頃、3回目は4月23日頃、4回目は5月7日頃。事務局も最適なところを選んだと思う。これでよいか。

（よいという声あり）

委員長：スケジュールはこのように決定した。

次に、表紙のデザイン（案）、一般質問レイアウトデザイン資料、似顔絵資料について事務局から説明をお願いします。

鴫田主任：表紙のデザインは毎号変えることにはならないため、案として2枚つくった。全面に写真を使う方法もあるが、写真の上に字を載せると見づらい部分もあり、選ぶ写真も限定されてしまうのではないかと思い、写真を3分の2ぐらいにした。「議会だよりしみず」ということで、「議会だより」を小さくして「しみず」を大きくしてしまうと町の広報紙との区別が分からないかかもしれないと思い、「議会だより」のほうを大きくした。コンテンツは仮に載せたもの。発行、編集、住所、ホームページアドレスなどは表紙の1頁目の下のほうに載せてはどうかということで案として載せた。これを基に意見等いただきたい。一般質問のレイアウトデザインはまだ考えていないが、栗山町、仁木町、利府町、芳賀町の一般質問を例として挙げた。右側が扉頁というもので、議員がどんな質問をしているか一目でわかるような頁を設けている。仁木町は扉頁に写真を入れて、一人ひとりの一般質問にはイラストを入れている。利府町の議会だよりでは3項目質問の例を掲載しており、上のほうがメインとなる質問、次の質問は下のほう、3項目は1議員1頁なので答弁だけとなっている。清水町議会だよりでは3項目まで掲載するとなっているので、3項目載せる場合は同じ量でちよつとずつ載せるか、メインとなる一般質問項目を大きく載せてあとの2つを小さく載せるか、その辺は質問議員に判断していただきたいと思っている。一般質問の当番委員になった人とも相談して考えていただきたいと思っている。

似顔絵の資料については4枚あるが、上の3枚が業者に依頼した場合のサンプル。こちらは1人に

つき1万円なので13万円かかることになる。4枚目は保育士の方をお願いして描いてもらったもの。中河委員からもお願いすれば描いていただけそうな方がいると聞いている。その辺を協議していただきたい。

委員長：表紙についてはたしかに写真に文字を入れると見づらくなる。このようにすっきりしたかたちが良いと思うがどうか。

中河委員：コンテンツという英語が入っているが、私もあまり意味がよくわからないのでもし英語を入れるとすれば括弧して日本語も入れてもらってはどうか。お年寄りがよく見ると思うので、英語だけの表記よりは日本語も使ってほしいという感じがする。

委員長：それはできると思う。日本語では正確にはなんと言うのか。

鴫田主任：目次。

委員長：表記については確認して検討いただきたい。ほかにあるか。

中河委員：先ほどの似顔絵の件。似顔絵を描ける方を知っているが、何も見ないでお願いするわけにはいかない。近々一度描いてもらおうと思う。ほかにも描ける方もいるということはその方にも話してきたので、選ばれるかどうかはわからないと言ってある。

委員長：予算は大丈夫なのか。

宇都宮係長：新年度予算では13万円の委託料を確保している。似顔絵を描く方がいるのであれば、そういう方法をとってもよい。

佐藤局長：業者の見積もりが1人あたり1万円だったので13人分確保した。ただ、もし職員などでもっと安くできる方法があれば、当然そちらを考えていくという説明はしている。必ずお金を使うという話はしていない。

委員長：3名目は描いた方は職員なのか。

鴫田主任：はい。

委員長：どれぐらいの謝礼がいるのか。

鴫田主任：職員なので謝礼は必要ないかと思う。

委員長：中河議員の知り合いに1枚いくらか描いてもらえるのか聞いてほしい。予算もあることなので。

中河委員：職員の方もこのことを仕事にしている人ではないだろうから、多少のお礼は必要ではないか。仕事をしている方が別の時間でやるのだから、ただということにはならないのではないか。

委員長：そのとおりで、もしやってくれるのであれば謝礼は考えたい。

表紙のデザイン、一般質問レイアウトデザインは資料のようなかたちで進めてよいか。

鴫田主任：一般質問の扉ページとレイアウトの件だが、ここで決めることにはならないと思うので、次回事務局で作って提案したいと思う。扉ページは仁木町のを参考にして、一般質問議員1人1頁の部分は栗山町のを参考に少し変えるというかたちで考えているが、それでよいか諮っていたきたい。

委員長：その方法で助かると思う。扉ページのコンテンツだが、このサンプルには「町政にここが聞きたい」というものがあるが、これもコンテンツに入るのか。

鴫田主任：今までの議会だよりでも「町政を問う」というようなちょっとした見出しを入れている。

委員長：事務局からサンプルが出たが、正式につくって次回に諮りたいということでよいか。

(よいという声あり)

佐藤局長：表紙のコンテンツという英語表記をどうするかということで、全く入れないというのも一つの方法ではある。

委員長：今話したのはコンテンツに括弧づけで目次を入れてもらうという話。

佐藤局長：次の委員会では検討するか、この場で決定するのははっきりしていただければと思う。

委員長：今中河委員から日本語を入れたほうが良いという提案があったから、目次を入れてほしいという話をしたつもりでいた。

加来議長：一つの案なので、ひらがなにしたほうがいいのかコンテンツ自体をなくしたほうがいいのか、いろいろ考えが出てくると思うので、次回までに何か見本を作ってもらって、次回協議してもらったほうが良いのではないかと。

委員長：そういったかたちでもう一度作ってもらうかたちでよいか。

深沼委員：先ほどからいろいろ意見を言われているとおり、わかりやすいという意味では日本語は入っていたほうが良いと思う。

委員長：コンテンツの英語が入って括弧付けで目次を入れたほうがいいのか。英語をやめてということか。

深沼委員：若い世代だとわかるだろうが、我々を含めて分からない人もいると思う。わかりやすい広報となればわかりやすく示したほうがいいのか。

委員長：コンテンツはやめて目次だけにしたらいいのではないかという話と、コンテンツを入れて括弧付けで目次を入れたらわかりやすいのではないかという2通りが出た。

山下委員：コンテンツの関係だが、栗山町や大郷町の例を見るとコンテンツや目次などは特別書いていないので、こういったものが表記されないのも一つかと思う。今ここで決めないで何通りか事務局で作ってもらって次回に判断してはどうか。

委員長：3通り意見が出たがどうするか。

中河委員：本当はコンテンツでなくて目次のほうがいいと思っているが、コンテンツという言葉を使いたいとするなら（目次）としたほうがわかりやすいのではないかという意見を言った。今後においてもこういう英語だけの表記は自分で読むとしてもきつとわかりづらい気はする。わかりやすいことが一番の目的だとすれば両方ではなく日本語表記のほうがいいと思う。

委員長：目次だけにすると、事務局に案を練ってもらうという意見が出たがどうするか。

川上委員：今の出された意見についてはあくまでも参考にして、いずれにしても当番委員がこれから決定するわけだから、当番委員と事務局で相談しながら下地を実際に作成して、その中でできたものを議論するかたちでよいと思う。今回事務局から出されたのはあくまでも参考程度で見本だと思うので、当番委員と事務局で今回の意見を参考にしながら進めてもらえばいいのではないか。

委員長：山下委員と同じような意見だと思う。当番委員と事務局で考えてもらうということでよいか。

（よいという声あり）

佐藤局長：一般質問のレイアウトは扉ページを仁木町のかたち、一般質問の1人1頁の部分は栗山町のかたちで案をつくる。似顔絵については中河委員の知人の方の絵を見てから判断するというのでよいか。

委員長：似顔絵については見てみないとわからないと思うのでそのとおり。

中河議員：1週間以内に描いてきてもらうようお願いする。

委員長：次に、表紙の写真・町民の声は各委員の当番制になっているため、表紙の写真・町民の声の当番（順番）を協議する。委員任期が2年のため、157号から164号の担当を決定する。表紙の写真の担当、町民の声の担当、それぞれの担当を決める。これについて事務局で何か案はあるか。

鶴田主任：委員任期2年で8回発行することになる。この場でなかなか決まらないと思うので事務局の案を発表する。157号の表紙の写真は川上委員、町民の声は佐藤委員。158号の表紙の写真は山下委員、町民の声は深沼委員。159号の表紙の写真は中河委員、町民の声は中島委員。160号の表紙の写真は中島委員、町民の声は中河委員。161号の表紙の写真は深沼委員、町民の声は山下委員。162号の表紙の写真は佐藤委員、町民の声は川上委員。163号の表紙の写真は川上委員、町民の声は佐藤委員。164号の表紙の写真は山下委員、町民の声は深沼委員としてはいかがか。

佐藤局長：表紙の写真のほうが会議録の順番、町民の声は反対の順番下で、特に意図はなくただ順番に振っただけ。

委員長：そういうことでよいか。

（よいという声あり）

委員長：次に、一般質問の答弁は答弁書を基に質問した議員以外の委員が要約することになっているため、3月定例会の一般質問の答弁要約の担当委員を協議して決定していきたい。3月定例会は、山下議員、口田議員、佐藤議員、鈴木議員、中河議員、高橋議員、川上議員の7名が今回一般質問をしている。答弁要約の担当について意見はあるか。

（事務局から案があればという声があり）

委員長：事務局から案を出してもらうことでよいか

(よいという声あり)

鴫田主任：こちらについても会議録の出席委員の名前順にあてはめた。山下議員の質問を川上委員。口田議員の質問を山下委員。佐藤議員の質問を中河議員。鈴木議員の質問を中島委員。中河議員の質問を深沼委員。高橋議員の質問を佐藤委員。委員は6人だが、川上議員の質問は、中河議員の質問が1項目なので、深沼委員にお願いしたい。

委員長：これでよいか。

(よいという声あり)

(3) その他

委員長：北海道町村議会議長会議会広報コンクールについて、事務局より説明をお願いします。

鴫田主任：全道の議会広報コンクールだが、以前出していたこともある。行政改革などで議会広報紙の頁数を減らしたり一色にした経緯があり、最近は出していない。事務局としては、今回は見送ってリニューアル後にまた出すことを検討してはどうかと考えている。

委員長：今回新しく自分たちで広報をつくるということで、どんなものができあがるかはわからないので、次回に回したらいいのではないかと思うが、どうか。

(よいという声あり)

委員長：今回は見送って、次年度で出すかは改めて検討したい。次の委員会は3月19日(火)を予定しているので全員の参加をお願いします。今日はこれで広報広聴常任委員会を終了する。

【終了 11:49】